

# 渡中だより

## 修学旅行に行ってきました。

「健康で安全に帰ってくる。」という目標のもと修学旅行に行ってきました。

3年生は、8月27日（木）から29日（土）まで、延期されていた二泊三日の修学旅行に行ってきました。日本の文化を考えるうえで、奈良・京都の歴史・文化を学ぶことは重要なことであると思います。奈良・京都は多くの歴史的建造物が立ち並ぶとともに、様々な歴史的人物が活躍した舞台でもあり、日本の伝統と文化。そして精神を感じながら、古都の魅力を「見て・聞いて・触れて・味わって」くることができたことだと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で今年度の修学旅行は、目的や実施方法については例年とは異なった修学旅行となりました。新幹線などの車両も20人程度の乗客で大変空いていました。見学地も観光客は大変少なく、こんなに空いている東大寺は私も初めてでした。宿や飲食場所については、危機感をもって感染防止対策を行ってくれていて、安心して宿泊や飲食を行うことができました。8月の実施となり、奈良・京都共に残暑が厳しくマスクをしての移動は大変でしたが、生徒たちは「健康で安全に帰ってくる。」という目標達成のためによく我慢して頑張ってくれました。

今年度の修学旅行は、コロナ禍で大変でしたが、中学校生活を振り返ったときには忘れられない思い出となつたことだと思います。そして、仲間のよさを見発したり、課題を解決したりしながら仲間と協力して、楽しく充実した修学旅行になったことだと思います。



発行

川崎市立渡田中学校

NO. 3

令和2年9月4日



## 「京都エコ修学旅行」に参加しました。

京都市オリジナルのエコバックにプリントされている「DO YOU KYOTO?」という言葉は、京都市で地球温暖化防止会議COP3が開催され、京都議定書が締結されたことにちなんで、「環境に良いことをしていますか?」という合言葉として、世界で使われるようになった言葉だそうです。今回の修学旅行では、総合的な学習の時間における環境教育の一つとして、「環境にやさしい京都エコ修学旅行」という京都市環境政策局の取り組みに応募し実施しました。修学旅行中に実行する3つの取組として、①歯ブラシの持参・使用。②エコバックの携帯・活用③食事の食べきり・食べ残しそれぞれを実施しました。この取組によって環境について考えるよい機会になったことだと思います。



## 『7月に入って変わったこと』

7月1日、新聞やテレビニュースなどでは、この日を境に変わること、新しくなることが紹介されていました。鉄道ファンには、東海道新幹線に「N700系S」の車両が登場し、乗り心地やサービス、安全性が向上したことが大きな関心事だったかもしれません。残念ながら修学旅行の列車は「N700系S」の車両ではありませんでした。

7月1日から新たに始まった取組として「レジ袋の有料化」があります。プラスチックごみの削減が国際的な課題である中で、欧州各国などではレジ袋の有料化や禁止措置に早くから取り組んでいました。日本国内で発生するプラスチックごみは、年間約900万トンでレジ袋はそのうちの2%程度だということです。また、レジ袋は再利用されることも多く、直ちにごみとなっているわけではないようですが、日常的に目にして利用するレジ袋を見直すことが、ストローやペットボトルなど、身の回りにあるプラスチック製品全体を考え直す契機になることが期待されていると思います。私もまずはマイバックの持ち歩きを忘れないよう心掛けたいと思っています。レジ袋の有料化は、環境問題についての一層の意識の高まりと世論の形成に繋がることが期待できると思っています。